

# 第八期講演会・第七期活動報告会・令和二年度通常総会

REF 第八期講演会・第七期活動報告会・令和二年度通常総会が八月一日(土)に織協ビルで開催された。当日は加藤理事長のあいさつの後、福井大学助教である浅野先生による『コンパクトシティの形成に向けたビッグデータ活用について』という議題で講演が行われた。携帯電話基地局データなどのいわゆるビッグデータを、都市計画の分野へどのように活用していくか紹介をいただいた。

講演会の後は休憩をはさみ、総務幹事の田辺氏の司会のもと、研究分科会の活動報告会が行われた。それぞれの分科会の発表・講評の後、加藤式男氏による総評が行われた。

総会ではまず議長の出選が行われ、梅田祐一氏が選出された。また議事録署名人として、橋本栄治氏と三輪裕一氏の二名がそれぞれ選出され議事に移ることとなった。第七期(通算第四十期)活動報告および決算報告、役員改選、第八期活動計画及び予算案等が諮られ、原案の通り議決された。

また今回はコロナウイルスの影響もあり、講演会・活動報告会・通常総会のオンライン同時開催を試みた。遠方の会員を含め、普段参加することが困難な会員も気軽に参加できることから、今回の試みは好評であったといえる。

## 第八期役員(敬称略)

(任期 令和二年八月一日〜令和三年七月三十一日)

### 理事

理事長・研究分科会 加藤 哲男 名古屋産業大学名誉教授  
副理事長・現地調査 宮本 好昭 デルタコンサルタント  
財務・談話会 酒井 俊雄 県砂防防災課

### 監事

総務・広報 川本 義海 福井大学  
竹内 成和

### 幹事

現地調査 木村 晃規 県港湾空港課  
脇本 幹雄 佐幸測量設計

### 広報

福 秀則 県鯖江丹生土木事務所  
西谷 光史 デルタコンサルタント  
山内 崇史 県道路保全課  
田辺 毅 県福井土木事務所  
清水 健 県三国土木事務所

### 総務

研究分科会部門幹事  
(交通) 吉村 朋矩 福井工業大学  
(地象) 小林 孝彰 県新幹線建設推進課  
(水) 齊藤 重人 福井県下水道公社  
(県境道路) 橋本 拓己 東京コンサルタンツ  
(道路交通安全) 嶋田 喜昭 大同大学

### 支援幹事

藤井 浩都 福井大学大学院

役員の任期は二年間  
(令和四年七月三十一日まで)



加藤理事長による挨拶



浅野周平氏による講演

## 第七期(通算第四〇期) 決算

(令和元年六月一日〜令和二年五月三十一日)

科目	金額	金額	金額
1 経常収益			
1 収入金			
1-1 受取金	770,000		
1-2 受取金	25,000		
1-3 受取金	0		
1-4 受取金	0		
1-5 受取金	0		
1-6 受取金	0		
1-7 受取金	0		
1-8 受取金	0		
1-9 受取金	0		
1-10 受取金	0		
1-11 受取金	0		
1-12 受取金	0		
1-13 受取金	0		
1-14 受取金	0		
1-15 受取金	0		
1-16 受取金	0		
1-17 受取金	0		
1-18 受取金	0		
1-19 受取金	0		
1-20 受取金	0		
1-21 受取金	0		
1-22 受取金	0		
1-23 受取金	0		
1-24 受取金	0		
1-25 受取金	0		
1-26 受取金	0		
1-27 受取金	0		
1-28 受取金	0		
1-29 受取金	0		
1-30 受取金	0		
1-31 受取金	0		
1-32 受取金	0		
1-33 受取金	0		
1-34 受取金	0		
1-35 受取金	0		
1-36 受取金	0		
1-37 受取金	0		
1-38 受取金	0		
1-39 受取金	0		
1-40 受取金	0		
1-41 受取金	0		
1-42 受取金	0		
1-43 受取金	0		
1-44 受取金	0		
1-45 受取金	0		
1-46 受取金	0		
1-47 受取金	0		
1-48 受取金	0		
1-49 受取金	0		
1-50 受取金	0		
1-51 受取金	0		
1-52 受取金	0		
1-53 受取金	0		
1-54 受取金	0		
1-55 受取金	0		
1-56 受取金	0		
1-57 受取金	0		
1-58 受取金	0		
1-59 受取金	0		
1-60 受取金	0		
1-61 受取金	0		
1-62 受取金	0		
1-63 受取金	0		
1-64 受取金	0		
1-65 受取金	0		
1-66 受取金	0		
1-67 受取金	0		
1-68 受取金	0		
1-69 受取金	0		
1-70 受取金	0		
1-71 受取金	0		
1-72 受取金	0		
1-73 受取金	0		
1-74 受取金	0		
1-75 受取金	0		
1-76 受取金	0		
1-77 受取金	0		
1-78 受取金	0		
1-79 受取金	0		
1-80 受取金	0		
1-81 受取金	0		
1-82 受取金	0		
1-83 受取金	0		
1-84 受取金	0		
1-85 受取金	0		
1-86 受取金	0		
1-87 受取金	0		
1-88 受取金	0		
1-89 受取金	0		
1-90 受取金	0		
1-91 受取金	0		
1-92 受取金	0		
1-93 受取金	0		
1-94 受取金	0		
1-95 受取金	0		
1-96 受取金	0		
1-97 受取金	0		
1-98 受取金	0		
1-99 受取金	0		
1-100 受取金	0		
1-101 受取金	0		
1-102 受取金	0		
1-103 受取金	0		
1-104 受取金	0		
1-105 受取金	0		
1-106 受取金	0		
1-107 受取金	0		
1-108 受取金	0		
1-109 受取金	0		
1-110 受取金	0		
1-111 受取金	0		
1-112 受取金	0		
1-113 受取金	0		
1-114 受取金	0		
1-115 受取金	0		
1-116 受取金	0		
1-117 受取金	0		
1-118 受取金	0		
1-119 受取金	0		
1-120 受取金	0		
1-121 受取金	0		
1-122 受取金	0		
1-123 受取金	0		
1-124 受取金	0		
1-125 受取金	0		
1-126 受取金	0		
1-127 受取金	0		
1-128 受取金	0		
1-129 受取金	0		
1-130 受取金	0		
1-131 受取金	0		
1-132 受取金	0		
1-133 受取金	0		
1-134 受取金	0		
1-135 受取金	0		
1-136 受取金	0		
1-137 受取金	0		
1-138 受取金	0		
1-139 受取金	0		
1-140 受取金	0		
1-141 受取金	0		
1-142 受取金	0		
1-143 受取金	0		
1-144 受取金	0		
1-145 受取金	0		
1-146 受取金	0		
1-147 受取金	0		
1-148 受取金	0		
1-149 受取金	0		
1-150 受取金	0		
1-151 受取金	0		
1-152 受取金	0		
1-153 受取金	0		
1-154 受取金	0		
1-155 受取金	0		
1-156 受取金	0		
1-157 受取金	0		
1-158 受取金	0		
1-159 受取金	0		
1-160 受取金	0		
1-161 受取金	0		
1-162 受取金	0		
1-163 受取金	0		
1-164 受取金	0		
1-165 受取金	0		
1-166 受取金	0		
1-167 受取金	0		
1-168 受取金	0		
1-169 受取金	0		
1-170 受取金	0		
1-171 受取金	0		
1-172 受取金	0		
1-173 受取金	0		
1-174 受取金	0		
1-175 受取金	0		
1-176 受取金	0		
1-177 受取金	0		
1-178 受取金	0		
1-179 受取金	0		
1-180 受取金	0		
1-181 受取金	0		
1-182 受取金	0		
1-183 受取金	0		
1-184 受取金	0		
1-185 受取金	0		
1-186 受取金	0		
1-187 受取金	0		
1-188 受取金	0		
1-189 受取金	0		
1-190 受取金	0		
1-191 受取金	0		
1-192 受取金	0		
1-193 受取金	0		
1-194 受取金	0		
1-195 受取金	0		
1-196 受取金	0		
1-197 受取金	0		
1-198 受取金	0		
1-199 受取金	0		
1-200 受取金	0		
1-201 受取金	0		
1-202 受取金	0		
1-203 受取金	0		
1-204 受取金	0		
1-205 受取金	0		
1-206 受取金	0		
1-207 受取金	0		
1-208 受取金	0		
1-209 受取金	0		
1-210 受取金	0		
1-211 受取金	0		
1-212 受取金	0		
1-213 受取金	0		
1-214 受取金	0		
1-215 受取金	0		
1-216 受取金	0		
1-217 受取金	0		
1-218 受取金	0		
1-219 受取金	0		
1-220 受取金	0		
1-221 受取金	0		
1-222 受取金	0		
1-223 受取金	0		
1-224 受取金	0		
1-225 受取金	0		
1-226 受取金	0		
1-227 受取金	0		
1-228 受取金	0		
1-229 受取金	0		
1-230 受取金	0		
1-231 受取金	0		
1-232 受取金	0		
1-233 受取金	0		
1-234 受取金	0		
1-235 受取金	0		
1-236 受取金	0		
1-237 受取金	0		
1-238 受取金	0		
1-239 受取金	0		
1-240 受取金	0		
1-241 受取金	0		
1-242 受取金	0		
1-243 受取金	0		
1-244 受取金	0		
1-245 受取金	0		
1-246 受取金	0		
1-247 受取金	0		
1-248 受取金	0		
1-249 受取金	0		
1-250 受取金	0		
1-251 受取金	0		
1-252 受取金	0		
1-253 受取金	0		
1-254 受取金	0		
1-255 受取金	0		
1-256 受取金	0		
1-257 受取金	0		
1-258 受取金	0		
1-259 受取金	0		
1-260 受取金	0		
1-261 受取金	0		
1-262 受取金	0		
1-263 受取金	0		
1-264 受取金	0		

# 【分科会報告会】

総会に先立ち、第七期の分科会活動報告が開催された。以下に簡単な研究の要旨と議論された内容について掲載する。

## 【交通分科会】

発表者…西谷 光史  
質疑者…小林 孝彰  
「福井県の歩行空間に関する取り組みの変遷」

現在、人口減少社会に対応したまちづくりの一環として、市町村が歩行者中心のまちなかを整備するための新区域「まちなかウォークアブル区域」を設定できる方針を示している。福井県ではこの制度で、福井市を含む五市が推進都市となっている。第七期交通分科会では、福井県の歩行空間のこれまでの取り組みを振り返り、整備や関連制度の変遷を整理したうえで、今後の「居心地が良く歩きたくなるまち」に向けた課題を展望することを目標として調査を行った。

調査は主に、福井県の戦後から現在に至るまでの歩行空間の整備に関する制度や取り組みについて年表形式で整理していき、同時に、国主導の施策や制度、海外の動向についても整理を行った。全国的にみて、震災復興からはハード重視の整備が進められてきたが、現在では今あるストックを、いかに有効活用して地域特性が見られた。大滝町周辺にはちょうど福井県を南北に二分する断層（油坂―米ノ構造線）が通過しており、その周辺には構造線に関連すると思われる断層が数多く分布し、東西方向の谷や山稜が目立っている。活断層やその周辺には岩盤内に割れ目が目立つ。卓越した弱層が分布するたに伴いニーズが低下した社会基盤に対して、撤去・統廃合して、相対的に弱い部分の浸食が土砂災害の原因になり、いく取組みも増え始めている。今あるストックを今後どのような結果として谷の形成につながっている。また、割れ目に効果的に選択していくかの方策を考えていく必要がある。まを地下水が流動しやすいため、周辺の山体からきれいな水を集めるのに一役買っているものと推測する。

してとして賛同している各都市で官民という枠を超えて様々な地域課題を解決し、多様な主体が活躍できる場を創出していくことが求められている。

## 【地象分科会】

発表者…清水 健  
質疑者…林 快宗  
「福井の地名から学ぶ防災・減災について  
〜大滝町（旧今立町内）編〜」

大雨などの防災・減災を考えるにあたって、気象と並ぶ重要な要素として地形があげられ、その地形を読み解くのに地名は切り離せない。地名は過去にどのような地形であったか、どのような災害が起こりうるのかといった、災害リスクを把握するのに有用な要素である。

今期の地象分科会は、越前市大滝町の調査を行った。「大滝」の地名は日本各地に存在し、その多くが山中の川上に位置しており、その周辺には滝の存在や、存しているような谷がある。大滝町にも地区を貫流する神宮川の源流に「滝清水」がある。また、もう一つの貫流である岡本川の上流には、砂防堰堤が整備されており、そのダムサイドにも滝が存在していた。この二つの河川は過去幾度も土砂災害や流水氾濫に見舞われており、上流に砂防堰堤が設けられた。また、町内の斜面は大規模な地滑り対策工事が行われており、本地区の多雨な気象と貧弱な地質が感じられた。その一方で豊富な水を利用して地場産業の製紙業が発展してきたことから、水の恵みを受けつつ、災害に耐えてきた。

大滝町周辺にはちょうど福井県を南北に二分する断層（油坂―米ノ構造線）が通過しており、その周辺には構造線に関連すると思われる断層が数多く分布し、東西方向の谷や山稜が目立っている。活断層やその周辺には岩盤内に割れ目が目立つ。卓越した弱層が分布するたに伴いニーズが低下した社会基盤に対して、撤去・統廃合して、相対的に弱い部分の浸食が土砂災害の原因になり、いく取組みも増え始めている。今あるストックを今後どのような結果として谷の形成につながっている。また、割れ目に効果的に選択していくかの方策を考えていく必要がある。まを地下水が流動しやすいため、周辺の山体からきれいな水を集めるのに一役買っているものと推測する。

してとして賛同している各都市で官民という枠を超えて様々な地域課題を解決し、多様な主体が活躍できる場を創出していくことが求められている。

## 【水文科会】

発表者…丸中 孝通  
質疑者…田辺 毅  
「近年の豪雨災害と福井の防災・減災」

近年、想定を上回る降雨による大規模な水害が発生している。特に、令和元年十月に発生した台風十九号では、記録的な豪雨により七県が管理する河川計六十七ヶ所が決壊した。

まず、公開されている資料を収集し、一級河川千曲川（長野県）における台風十九号の被害等を調査した。千曲川は、立ヶ花基準点において、計画降雨一八六mm（二日）（想定確立百分の一、百年に一度の確率で生じると想定）と設定していたが、それを超える雨が一日で降ったことが読み取れた。

福井県内の河川の整備はどのような状況であるか、公表資料の収集、県河川課への聞き取りなどで調査を行った。九頭竜川・日野川では、計画規模は百五十分の一としているが、一部区間では十分の一程度のところもあり、改善が求められる。気候変動による災害多発、計画規模を上回る降雨が発生する現状を踏まえると、ハード対策は進んでいるものの、ソフト対策を含めた対策が必要である。そして、浸水想定区域図やハザードマップの公表を通じて、各個人が関係している地域の水害リスクを把握しておくことが重要である。このように、水害リスク情報を官民が連携して上手に活用することで防災意識が向上し、防災・減災の取り組みが進み、強靱性の高い地域の構築につながるのではないかと推測する。

してとして賛同している各都市で官民という枠を超えて様々な地域課題を解決し、多様な主体が活躍できる場を創出していくことが求められている。



交通分科会  
発表：西谷氏，講評：小林氏



地象分科会  
発表：清水氏，講評：林氏

【県境道路分科会】

「遠敷川源流の上根来集落」

発表者：橋本 拓己  
 質疑者：藤井 浩都

今期は、小浜市の無人集落である上根来集落の活動に着目して現地調査を行った。上根来集落は、小浜市街地から車で三十分、遠敷川の上流、標高三百メートル付近の滋賀県との県境に位置している。

この上根来集落では、平成七年に上根来地権関係者等の親睦会「上根来百合会」が発足し、季節の節目に集落内や鯖街道の草刈り、また、鯖街道利用者のための無料休憩所の開設、運営などを行っている。現在では、他の特定非営利活動法人や地元高校などと連携して、「上根来プロジェクト」として様々な取り組みを行っており、随時情報発信も行っている。「上根来プロジェクト」の主なものとして、地元の雪を利用した雪室貯蔵、アブラギリ（ころび）という植物を利用したプロジェクト、空き家の休憩所やゲストハウスなどへの活用といったものがある。

現地調査では、上根来百合会会長の岸本氏、事務局長の川端氏と共に、鯖街道針畑越えルートのうち比較的歩きやすい区間を、随時説明を受けながら調査をした。途中、多くの往来者が通ったことで深い掘割になっている区間や雪の多さの影響で大きく根曲がりしていた木々を見ることができた。

また、上根来集落から遠敷峠までの区間で斜面崩壊している区間が多く見受けられた。平成三〇年の豪雨により崩壊したとのことであるが、被害者がいないためか、対策について見通しが無い状況であるため、県境地域の災害対策について、課題があると考ええる。



水分科会

発表：丸中氏，講評：田辺氏



県境道路分科会

発表：橋本氏，講評：藤井氏

【交通安全分科会】

「自動運転・MaaS社会における「ラストマイル」を考える」

発表者：嶋田 喜昭  
 質疑者：丸岡 みずず

道路交通分科会では、継続して自動運転の社会実装に向けた実証実験の状況を追いつつ、自動運転やMaaS社会のあるべき姿について検討することを目的とした。

まず、端末交通への自動運転の導入として期待されている「ラストマイル」に着目し、ラストマイルとはどのような交通を意味するのか、短距離移動支援・サービスの適正距離等の観点から考察を行った。

また、電動キックボード（一人用立ち乗りモビリティ）による移動サービスが近年、世界で急速に普及している。このシェアリングサービスは二〇一七年に米国ではじまり、欧州を中心に急速に普及した。

電動キックボードの普及における我が国の課題を整理してみる。安全性については、規制の強化を進める例が散見されているが、我が国の基準は他の国と比べ、極めて厳しく、規制緩和の必要性があるとされる。利用コストは一マイル二五〇円〜三〇〇円と、タクシーより少し安い程度である。受容性に関しては、体験機会をうまく提供できれば需要が高まる期待があり、高齢者のニーズも期待できるといった指摘もある。

以上より、我が国の現行制度や道路空間の中では、電動キックボードのポテンシャルを十分に発揮できず、安全性を低下させることも予想される。今後、引き続きラストマイルなど短距離移動支援・サービスのあり方について検討する予定である。



交通安全分科会

発表：嶋田氏(最上段右)，  
 講評：丸岡氏 (真ん中左)  
 両者 ZOOMでの参加



総評をする加藤式男氏

☆入退会のおしらせ☆ (敬称略)

《転格》

飯塚由美 (正会員から賛助会員へ)

令和二年八月一日時点  
 正会員 六十八名  
 賛助会員 三十七名  
 合計 百五名

【会費の納入について】

会費の納入をお願いします。

年会費  
 正会員 … 一二,〇〇〇円  
 賛助会員 … 三,〇〇〇円

会費納入先  
 《振込みの場合》  
 ゆうちょ銀行

振替口座 七三〇・三・二〇三九六  
 福井地域環境研究会

※機関紙巻末の振込用紙をご利用ください。

《直接支払う場合》

総会、中間報告会、談話会等開催時、または、左記、財務幹事まで直接お支払いください。

【財務幹事】

〒九一三・八五一  
 福井県坂井市三国町水居一七四五  
 福井県三国土木事務所

清水 健

TEL 〇七七六・二〇・〇四八一(内線三三三三)  
 Mail t-shimizu-j3@pref.fukui.lg.jp